



経済學研究法ニ就イテ福田博士ノ エヲ乞フ

河上, 肇

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 7(5):659-673

(Issue Date)

1909-11

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051468>



經濟學研究法ニ就イテ福田博士ノ教

ヲ乞フ

京都法科大學助教授

法學士 河

上

肇

吾輩前號ノ本誌ニ『眞理ノ進化』ト題スル拙稿ヲ載セ、論餘、福田博士ノ『絶對的眞理』說ニ言及スル所アリタリシガ、斯ノ一文、幸ニ博士ノ清覽ヲ汚シ得タリト見エ、追テ答辯スル所アラントノ博士ノ私信、數日前吾輩ノ机上ニ到來シタリ。是レ吾輩望外ノ光榮トスル所乃チ茲ニ其ノ光榮ヲ更ニ大ニセントスルノ意ヲ起シ、未ダ斯ノ誌上ニ於イテ其答辯ニ接セザルノ前、序ナレバ今マ重テ疑惑數條ヲ提出シ、謹ンデ博士ノ示教ヲ待ツ。論ノ内容ハ自ラ第二ノ補論トシテ嘗テ掲ゲシ『歸納的眞理ノ價值ノ大小』ニ連絡スルモノ也。

一、

凡ソ科學ノ研究上、演繹歸納兩論法ノ併用スベキモノナルコト、及ビ殆ド凡テノ

學者ノ現ニ併用シツ、アルコトハ始メヨリ吾輩ノ論ヲ待タザル所ナリ。例ヘハ人類原始ノ家族狀態ヲ研究スルニ當リ、各種ノ材料ヲ蒐集觀察シテ、然ル後、原始人類モ亦タ家族ヲ形成シ居タルナルベシト云ハ、是レ即チ歸納的研究法ヲ用ヒタルモノト謂フベキ也。乍併、其ノ蒐集セル材料ニハ、誤レルモノモ混入シ居ルベク、而シテ漏レタルモノ、多キハ固ヨリ論ナキガ故ニ、此ノ如キ材料ヨリ歸納シタル結論ハ、未ダ充分ニ科學的立證ヲ經タリト爲スベカラズ。乃チ進ンデハ、更ニ何ガ故ニ、原始人類モ家族ヲ形成シ居タル筈ナルヤ、トノ問ニ答ヘザル可ラズ。而シテ之ニ答フルニハ、他ノ自明ノ理又ハ既ニ立證サレタルノ理ヲ引用シ、之ヲ基礎トシテ論理的ニ推論スル時、亦タ彼ノ結論ニ到達シ得ベキ所以ヲ闡明セザルベカラズ。而シテ是レ即チ演繹的論法ノ應用タリ。次ギニ又タ、先ヅ演繹論法ヲ用ヒテ一ノ法則ヲ發見シタリトセンカ、更ニ之ヲ立證スルニ歸納ヲ以テセザルベカラザル、其ノ關係亦タ全ク先キノ場合ト相同ジ。例ヘハ惡貨ハ良貨ヲ驅逐スト云フ、コレ即チグレシヤムノ法則ナルモノニシテ、其ノ發見ハ正ニ演繹論法ノ賜物タリ。乍併、コノ法則ノ存在ノ疑フベカラザルヲ立證セン爲メニハ、更ニ歷史上ノ事例ヲ引キ來ツテ、他ニ此ノ

法則ノ實現ヲ妨グルノ事情アラザル限り、現ニ惡貨ノ良貨ヲ驅逐シツ、アル事實ヲ例示スルヲ要ス。而シテ是レ即チ歸納論法ノ應用タリ之ヲ要スルニ、演繹歸納ノ兩法ハ共ニ學理考定ノ要具ニシテ、其ノ一ヲ採ツテ他ヲ廢スベキニ非ザル也。

演繹歸納兩法ノ關係既ニ此ノ如シトセバ、學者コノ二法ノ利害得失ヲ論ズル、畢竟無用ノコト、謂フベキ乎。此ノ點ニ就イテ、福田博士ハ則チ答ヘテ云フ。

演繹學派ト歸納學派トノ區別ハ、畢竟ハ程度ノ問題ニシテ、何レヲ多ク用ヒタルヤニ從テ、假リニ命令スルノ外意味アルベカラズ。『經濟學講義』上卷、一七九頁、此ノ一節、是レ吾輩ガ博士ノ斯學研究法ニ關スル説明ニ付イテ、惑フ所アル第一點ナリ。

抑々博士ノ云フガ如ク、演繹歸納兩學派ノ區別ニシテ、單ニ程度ノ問題タルニ止マラシメバ、經濟學上『研究法』ニ關スル論爭甚ダ盛ニシテ、學者各々區々ノ見解ヲ持シテ下ラズ、甲論乙駁、殆ド底止スル所ヲ知ラザルノ觀アルハ、固ヨリ『局外者ニ奇異ノ感ヲ與』フルニ止ルナラン。而シテ彼ノメンガー對シユモルラーノ有名ナル論爭ノ如キモ、博士ノ云フガ如ク、『學問ノ進歩ニ貢獻シタル所左迄重大ナリト言ヒ難』キ

モノタラン。乍併斯ク觀ジ去ルニ於テハ、古來學者ノ此ノ問題ニ關スル論爭辯難ノ頗ル喧シキ、餘リニ奇異ナルニ似タリ。是ニ於テカ、吾輩ハ此ノ二學派ノ區別ヲ以テ單ニ程度ノ差ニ過ギズト爲セル博士ノ論ニ對シ、疑惑ナキヲ得ザル也。

試ニ吾輩ノ見ル所ヲ述ベンカ、譬ヘバ食ヲ取ルニ當リ、スーブヲ先キニシ、ケークヲ後ニスルモ一法ナリ。先ヅケークヲ食ヒ、最後ニスーブヲ取ルモ亦タ一法ナリ。而シテ其ノ等シク食フノ點ニ於テハ、何レノ法ヲ採ルモ更ニ差異ナケレドモ、而カモ食ヲ嗜ム者ハ、甚シク之ガ前後ヲ吟味スルヲ常トス。今マ學理ノ研究ニ於ケルモ亦タ此ノ如シ。先ヅ演繹法ヲ用ヒテ一定ノ法則ヲ發見シ、然ル後、歸納法ニ依ツテ之ニ加工セントスルハ則チ演繹學派ノ主張ナリ。先ヅ歸納法ヲ用ヒテ一定ノ法則ヲ發見シ、然ル後、演繹法ヲ以テ之ニ加工セントスルハ則チ歸納學派ノ主張ナリ。二者ノ差異ハ、唯ダ事ニ前後アルノミ、而カモ前後ノ差異アル、敢テ輕々ニ看過シ難キハ、譬ヘバ食ヲ嗜ム者ノ先ヅ咖啡ヲ飲マズ先ヅ菓子ヲ喫セズシテ必ズ之ヲ最後ニスルガ如シ。畢竟ズルニ、演繹歸納ノ兩法之ヲ併用スルノ必要アル論ナケレドモ、先ヅ其ノ何レヲ用ヒテ學理發見ノ端ヲ闢クカニ就イテハ、學者ノ間異論アルヲ免レズシ

テ、而カモ此ノ異論ヲ判定裁斷スル、敢テ無用ノコトニ非ズト信ズ。

演繹歸納兩學派ノ差異ノ根本ハ吾輩上述ノ點ニ在リト信ズ。而シテ、更ニ吾輩ノ見ル所ニ據レバ、此ノ根本ノ差異ハ引イテ種々ノ從タル差異ヲ生ズルニ似タリ。例ヘバ、演繹學派ニ在リテハ、往々其ノ前提トシテ架空ノ事實ヲ假定スルコトアリ。是等ノ假定タル、多クハ現實ノ現象ヲ觀察シテ得タル歸納約結果タリト雖モ、而カモ此ノ場合ニ於イテハ其ノ歸納ノ事實ニ重キヲ置カズ、從テ假定ハ眞ニ假定ニシテ其ノ事ノ眞ナルヤ否ヤハ深く問ハズ、唯ダ研究上其ノ便否如何ヲ問フノミ、之ヲ幾何學ニ見ルニ、其ノ假定スル所ノ點、線、平面等ノ觀念ハ、現實ノ現象中吾人ノ呼ンデ點ト云ヒ線ト云ヒ平面ト云フモノト大ニ異レリ。乍併、コレ眞ニ假定ニシテ、吾人ハ其ノ眞否ヨリモ寧ロ便否ヲ問フノミ。法律學ニ於イテ、主權ヲ以テ絶對無限ノ權力ナリト假定スル、其ノ事實ノ真相ヲ得ザルハ固ヨリ論ナケレドモ、唯ダ吾人ハ演繹上便宜ナル假定トシテ之ヲ認容ス。經濟學上『經濟人』ノ假定ノ如キ、研究上不便ナルノ故ヲ以テ、今マ多ク用ヒラレズト雖モ、其ノ『經濟人』ナルモノ、一個ノ假定タルハ始ヨリ論ナキ處タリ。今マ歸納法ニ在ツテモ其ノ研究ノ第一歩ハ亦タ此ノ如キ假

定ヨリ出發ス。例ヘバ一切ノ現象ハ因果ノ關係ニ依ツテ、支配サル、ト云フガ如キハ、一ノ一般的法則ナリ。而シテ吾人ハ經濟學ノ研究ニ當リ、此ノ一般的法則ヨリシテ、一切ノ經濟現象ハ凡テ因果ノ理法ニ依ツテ支配サル、モノナリトノ經濟學上ノ假定ヲ演繹シ、之ニ本イテ歷史的研究ノ武步ヲ進ム。今マ是等ノ假定タル、即チ演繹的推理ノ產物タルニ外ナラズト雖モ、而カモ此ノ場合ニ於イテ其ノ演繹ノ事實ニ重キヲ置カザルハ、彼ノ演繹的研究ニ於テ其假定打出ノ際ニ用フル歸納ノ事實ニ重キヲ置カザルト相似タリ。唯ダ其ノ異ル所ハ、演繹的研究ニ於ケル假定ハ、深ク其眞否ヲ問ハズシテ寧ロ重キヲ其ノ研究上ノ便否ニ置クト正ニ相反シ、歸納的研究ニ於ケル假定ハ、專ラ其ノ假定ノ眞否ヲ問フ。若シ其ノ假定ニシテ誤ランカ、此ノ如キ誤謬アル前提ヲ基礎トセル歸納的智識ハ、全ク科學上ノ價值ナキモノタル也。演繹歸納ノ兩論法、委細ニ其真相ヲ觀レバ、其ニ一定ノ假定ニ立脚スルニ於イテ相同ジト雖モ、而カモ其ノ前提トセル假定ノ性質ニハ此ノ如キノ根本的差異アルナリ。是ノ故ニ、演繹論法ニ依ル研究ハ比較的他の科學ニ對シ獨立ノ地歩ヲ占メ得ト雖モ、獨リ歸納的研究ハ其ノ前提ノ眞ナルヲ重シズルノ結果、之ヲ他ノ學問ヨリ借

リ來ルノ必要アリテ、比較的諸學ノ發達ニ左右セラル、コト多シ。是レ學問發達ノ順序ニ於テ、古來演繹論法ノ先ヅ主トシテ採用セラレタル所以ナリ。

吾輩ハ茲ニ演繹歸納兩學派ノ性質ヲ闡明スルコト其レ自身ヲ以テ目的ト爲スモノニ非ズ。況ンヤ經濟學ノ研究上其ノ何レヲ可トスベキヤヲ論斷セストスルガ如キ意志ハ毛頭モ是レアラズ。唯ダ吾人ハ、例ヘバルーランドトシユムペーテルトノ著書ノ同ジク經濟學ノ名ヲ冠スルニ拘ラズ、其ノ内容ノ餘リニ懸隔スルノ事實ニ驚キ、演繹歸納兩學派ノ得失ヲ論究スルノ決シテ無用ノコトナラザルヲ信ズルト共ニ、吾國ノ學者中斯學研究法ニ就イテ一家ノ見識ヲ公表セラレタルモノ、吾師金井博士ト茲ニ述ベタル福田博士ト此ノ二人者ニ止ルガ如キ、斯壇ノ現狀ノ根本的問題ヲ閑却スルノ甚シキヲ慨スルノ餘、先ヅ演繹歸納兩學派ノ差異ニ關スル福田博士ノ見解ニ對シテ吾人ノ疑惑ヲ述べ、以テ斯ノ重要ナル研究ノ第一歩ト爲サント欲スルノミ。

一

福田博士ノ著述『經濟學講義』ノ一章『研究法』ト題スルモノ、中ニ就イテ、猶ホ吾輩

ノ疑惑ヲ抱カザルヲ得ザル點アリ。請フ次イデ之ヲ論ゼン

博士曰ク

學問ノ要ハ其對象ノ何タルヲ論ゼズ、原因結果ノ理法ヲ發見スルニアリテ、凡ソ此目的ノ爲メニハ、普ク事實ヲ蒐集シ、之レヲ適當ノ順序ニ排列シ、之レヲ解釋説明シ、之レヨリシテ終ニ因果ノ理法ノ推斷ニ及ボス可キモノナリ。『經濟學講義』上卷、一八一頁。

又曰ク

其最終ノ到着點ハ皆因果ノ理法ヲ發見スルノ一事ニ歸スベキモノニシテ、他ノ事業ハ此ニ到ル方法ナリ、手段ナリ(同上、一八二頁)。

吾輩ハ是等各節ニ見ハレタル博士ノ思想ニ對シ、二個ノ疑問ヲ起スヲ得ベシ。其ノ第一ハ、博士ガ『學問ノ要』ト爲シ『其最終ノ到着點』ト爲ス所ノ誤謬ニ非ザルナキカ。是レナリ。其ノ第二ハ、博士ガ『學問ノ要』以外ノモノ、即チ學問ノ要ヲ達スル爲メノ『方法』タリ『手段』タルモノヲ以テ、學ソノモノ、一部ト爲スノ誤謬ニ非ザルナキカ、是レナリ。

第一點ハ、茲ニ詳論スルヲ避クベシ。唯ダ試ニ一二ノ例ヲ舉ゲテ、學問ノ中ニ所謂因果ノ理法ヲ發見スルヲ以テ目的ト爲シ居ラザルモノアルヲ示シ置カン。例ヘバ文學ハ如何、是レ因果ノ理法ヲ發見スルヲ目的トセルモノナリヤ。抑々博士ハ是レ學ニ非ズト云ハントスルカ、而カモ明カニ文學ト云フハ如何。或ハ又タ之ヲ學ト云フヲ非ナリト爲サントスルカ。即チ博士ノ學ヲ説ク、學トハ此ノ如キモノナリト云フヲ示スニ非ズシテ、余ハ此ノ如キモノヲ學ト名ケント欲スト云フニ在リトスルカ。然ラバ是レ畢竟言語製造ノ爭ニシテ、殆ド他人ノ批評ヲ容ルベカラザルモノナリ。サレド姑ク文學ヲ舍ケ、而シテ吾輩ハ更ニ幾何學ハ如何ト問ハン。是レ果シテ因果ノ理法ヲ發見スルヲ目的トセルモノナリヤ。抑々博士ハ是レモ亦タ學ニ非ズト云ハントスルカ、コレ即チ暴論ト云フベキ而已。要スルニ僅カ是等一二ノ例ニ依ツテ考フルモ、博士ハ明白ニ『學問ノ要』ヲ誤解セルニ似タリ。少クトモ吾輩ハ爾カ考フ。

第二點ハ、聊カ詳論ノ必要アルベシ。既ニ一言シ置キタル如ク、吾輩ハ博士ガ『學問ノ要』以外ノモノヲ以テ學問ノ要素ト爲シ組成分子ト爲スヲ怪ムモノニテ、更ニ了解シ易カラシ爲メニ、之ヲ經濟學ニ就イテ云ヘバ經濟史ノ如キヲ以テ其ノ一部門

ト爲スヲ怪ムモノタルナリ。『經濟學講義』上卷、一九八頁、二〇一頁等參照、抑々經濟史トハ何ゾヤ。若シ之ヲ解シテ經濟現象發展ノ理法ヲ説クモノナリトセンカ、其ノ經濟學ノ一部門タルヤ論ナシ。然レドモ、若シ之ヲ解シテ個々ノ具體的經濟現象ニ關スル記述的歴史ノ謂ナリトセンカ、是レ經濟學研究ノ一材料タルノミ、而シテ其ノ組成要素ニハ非ザル也。

蓋シ吾輩ノ見ル所ニ據レバ、凡ソ現象ニ關スル學ハ大別シテ二種ト爲シ得ルガ如シ。其ノ一ハ、個々ノ具體的現象ノ真相ヲ説明スルモノニテ、其ノ二ハ、多數ノ現象ニ貫通スル通素ヲ説明スルモノ是レナリ。吾輩ハ便宜ノ爲メニ、前者ヲ名ケテ假リニ文學ト云ヒ、後者ハ之ヲ科學ト名ク。今マ經濟學ハ即チ科學ノ一科ナリ、之ニ反シ經濟史ハ文學ノ一種トシテ必ズシモ獨立セル學タルヲ得ザルニハアラ子ド、今ハ則チ經濟學ノ研究材料トシテ存在スルニ止リ、固ヨリ科學ノ一部タラザルト同時ニ、又タ文學ノ一種タルニモ値セザルモノトス。

蓋シ歴史ハ個々ノ具體的現象ヲ研究ノ目的ト爲セルモノニテ、即チ個々ノ具體的現象ニ就イテハ、能ク因果ノ關係ヲ闡明シ得ベシト雖モ、多數ノ現象ニ貫通セル

因果ノ理法ニ至ツテハ、之ヲ説クコト能ハザル也。故ニ余ガ先キニ云フ文學ノ一種ニシテ、所謂科學ノ一科タルモノニ非ズ。而ルニ此ノ文學ノ一種タル歴史ハ、科學ノ進歩ニ伴フテ興味アル變遷ヲ經タリ。

抑々歴史ナル語ハ元ト極メテ廣義ニ使用セラレタルモノニテ、苟クモ過去ノ現象ヲ記述セルモノナラバ、其ノ自然現象ニ屬スルト社會現象ニ屬スルトヲ問ハズ凡テ之ヲ總稱シテ歴史ト爲シタルモノ也。例ヘバプラトノ使用セル『自然歴史』ナル語ハ、今日吾等ノ使用セル『自然科學』ナル語ニ相當スルモノナリト云ヘリ。現ニ今日ト雖モ、自然科學ノ一部ヲ指スニ『自然歴史』ノ名稱ヲ用フルモノアルハ、畢竟其ノ遺風ナリト云フヲ得ベシ。此ノ如ク、歴史ナル語ノ範圍ハ嘗テ甚ダ廣カリシカド、今日ニ於テハ、普通ニ歴史ト云ヘバ則テ社會人事ノ歴史ヲ指スモノト解セラル。而シテ歴史ナル語ノ意義ノ變遷ニ伴フテ、歴史家ナルモノ、研究範圍モ亦次第ニ變遷シタリ。即チ往昔ノ史家ハ、嘗ニ人事ノミナラズ、天變地異、其他ノ自然現象ヲ記述スルヲ以テ其ノ任務ノ一部ト爲シタリキ。例ヘバ舜ノ時代ノ歴史ニハ『景星出、卿雲興』ト云フガ如キ、天文學上ノ記錄アリ、禹ノ時代ノ歴史ニハ『黃龍負舟』ト云フガ如キ

動物學上ノ記錄アリタレドモ、今日ノ史家ニ取ツテハ一切ノ自然現象ハ凡テ其ノ研究ノ範圍外ニ出ヅルニ至レリ。

然ラバ何ガ故ニ、歴史ナル語ノ意義及ビ歴史家ノ研究範圍ハ此ノ如キ變遷ヲ爲スニ至リシヤト云フニ、其ノ原因ハ要スルニ科學ノ進歩ニ外ナラズ。蓋シ既ニ述ブルガ如ク、科學ノ要ハ多數ノ現象ニ貫通スル通素ノ發見ニ在ルガ故ニ、其ノ主タル研究材料ハ個々ノ具體的現象ニ關スル智識ニシテ、即チ歴史ハ其ノ最も主要ナル資料タリ。故ニ、科學ノ發達スルニ從フテ、其ノ科學ノ研究範圍ニ屬セル現象ノ歴史ハ、科學者自ラ之ガ研究ニ從事スルニ至ルモノニテ、即チ歴史家ノ事業ハ此ノ理由ヨリシテ、次第次第二科學者ノ手ニ轉嫁シツ、アルナリ。而シテ科學ノ中、最も早く發達シタルモノヲ自然科學ト爲ス。是ノ故ニ自然歴史ハ先ヅ歴史家ノ手ヲ離レテ自然科學者ノ手ニ歸シタリ。此ノ如クニシテ、歴史ト云ヘバ則チ社會人事ノ歴史ヲ意味スルニ至リタレドモ、更ニ近時ニ至リテハ、自然科學ノ外ニ各種ノ社會科學次第ニ發達シテ各々一科獨立ノ科學ヲ形成セントスルニ至リシヨリ、歴史ノ範圍ハ益々削減セラレ縮少セラル、ニ至リタリ。而シテ吾ガ經濟現象ノ如キ、亦タ等シク

近時ニ至リテ科學的研究ノ物體ト爲リシ結果、今ヤ所謂歷史學派ノ勃興ヲ見ルニ至リ、斯クテ一派ノ經濟學者ハ只ダ經濟史實ノ研究調査ニ没頭シテ已ムモノアルニ至リヌ。

今マ是等經濟學者ノ手ニ依ツテ行ハレツ、經濟史ノ學問上ニ於ケル地位如何蓋シ吾人ハ之ヲ看做スニ依然史學ノ一部ヲ以テシ、畢竟此ノ如キハ經濟學者ガ經濟學者トシテ研究スルニ非ズシテ單ニ史學者ノ代理ヲ爲シツ、アリト認メ得ラレザルニ非ズト雖モ、恐ク此ノ如キハ不當ノ見解ナラン。何トナラハ縱ヒ個々ノ具體的現象ノ歷史ニ關スル研究ナリトスルモ、苟クモ既ニ經濟學ノ資料トシテ且ツ經濟學者テフ立脚地ヨリシテ、其ノ遂行セラレツ、アル以上、之ヲ以テ經濟學以外ニ一科獨立ノ學ヲ形成シツ、アル史學ノ一部ト看做ス能ハザレバナリ。然ラバ、之ヲ以テ科學ノ一科タル經濟學ノ一部門ト爲スベキヤト云フニ、コレ亦タ固ヨリ不可ナリ。何トナレバ、既ニ重ネテ述べタル如ク、科學ノ要ハ多數ノ現象ニ貫通セル通素ノ説明ニ存シ、個々ノ具體的現象ノ説明ヲ以テ其ノ目的ト爲スモノニ非ザレバナリ。乃チ詮ズル所、個々ノ具體的經濟現象ニ關スル歷史ハ、史學ノ一部ニモ非ズ、又

タ經濟學ノ一部ニモ非ズシテ、畢竟經濟學研究ノ資料タルニ止リ、或ル獨立シタル一科ノ學ノ組成分子タル能ハザルモノト化シ了セル也。

蓋シ苟クモ獨立セル一科ノ學ト云ハ、必ズ其レ自身ニ於イテ一個特有ノ目的ヲ存スルコトヲ要トス。極言スレバ、凡テ學問ハ、其ノ學問自身ヲ目的トセザルベカラズ。若シ之ニ反シ、或ル他ノ目的ヲ達スル爲ノ手段タランカ、其ノモノハ其レ自身獨立シテ存在スルノ價值ナキモノニテ、即チ一科ノ學ト云フヲ得ズ。今マ之ヲ經濟史ニ就イテ見ルニ、若シ其ノ研究ガ史學者ノ手ニ依ツテ史學ノ一部トシテ行ハルルナラバ、史學ノ目的ハ具體的現象ノ記述ニ止ルモノナルガ故ニ、過去ニ於ケル一定ノ具體的經濟現象ノ記述ソノモノアラバ、其レ自身ニ於イテ既ニ目的ヲ達シタルコト、ナル。乍併、若シ之ニ反シ、等シク一定ノ具體的經濟現象ノ記述ナリトスルモ、經濟學者ノ手ニ依リテ經濟學ノ研究資料ヲ得ルガ爲メニ行ハル、ナラバ、經濟學ハ科學ニシテ即チ多數ノ現象ニ貫通スル通素ヲ發見スルヲ目的ト爲スモノナルガ故ニ、其ノ具體的現象ノ記述ハ其レ自身目的タル能ハズシテ、經濟學上ノ法則ヲ發見スル爲メノ一ノ手段タルニ過ギズ。即チ一科獨立ノ學ヲ成スベキ性質ノ智

識ニ非ザル也。蓋シ經濟現象ノ記述ハ、政治又ハ軍事ノ方面ニ於ケル大事件又ハ大人物ノ記錄ト異リ、其レ自身ニ於イテ趣味アルモノニ非ズ。コレ文學ノ一種タル史學ガ、從來此ノ方面ノ研究ヲ閑却セシ所以ニシテ、之ガ研究ハ經濟學ノ發達ニ伴ヒ其ノ研究ノ手段トシテ必要視セラレ、其ノ必要ノ爲メノ故ニ、經濟學者ノ手ニ依ツテ遂行サルベキモノタル也。方今所謂史學者ニシテ或ハ此ノ方面ノ研究ニ志ス者アルガ如キガ、是等ノ人ハ、其ノ自ラ意識スルト否トニ係ラズ、實ハ經濟學者ノ列ニ加入セルモノナリ。扱テ計ラズモ筆ヲ餘岐ニ馳セタリシガ、要スルニ吾輩ハ、以上ノ理由ニヨリテ經濟史ヲ經濟學ノ一部門ト爲ス說ニ反對スルモノナリ。蓋シ人各々信ズル所アリ。而シテ如上ノ愚見、先入主トナツテ、博士ノ論ヲ通讀スルヲ得テ惑ノ猶ホ解ケザルモノアリ。唯ダ其ノ未ダ熟セザルヲ覺ユルヲ以テ之ヲ公表スルニ至ラザリシカド、今マ博士ノ私信ヲ得ルニ及ビ、サラバトテ勇ヲ鼓シテ一氣ニ斯篇ヲ呵成ス。若シ叱正ヲ受クルノ榮ヲ得バ吾人ノ本懷之ニ過ギタルハナシ。